さんきゅうだより

〒190-0021 東京都立川市羽衣町 3-14-13
TEL ／FAX 042-512-7541（カフェ／042-512-7541）
E -mail： sanqtachikawa@tbz.t-com.ne.jp
http:// sanq-h.org/
特定非営利活動法人 さんきゅうハウス

2022 年 1 月発行

さんきゅうハウス設立 11 年目 対人支援の困難さに立ち向かおう

2021 年 11 月に入り新型コロナウィルスの罹患者が急減し街ににぎわいが戻ってきました。その最中に新たな変異ウィルスが見つかり外国からの入国制限が強化されました。コロナ災害に振り回されて 2 年近くなりますが、さんきゅうハウスに相談、支援を求めてやってくる人たちは相変わらず途絶えることはありません。

2021 年 5 月頃から 9 月ごろまでは 10 代､20 代から 50 代の非正規、請負型の職業についていた人たちからの SOS が増え、悲鳴をあげる状態がつづきました。若者、女性で支援を求めてくる人も珍しくなくなりました。それに加えて年金だけで生活ができない人や高齢で仕事につけない人が家賃滞納や生活費がない、とホームレス状態になりやってきます。相談にくる人はさまざまな理由で所持金が 0 円から数千円、住居を失ってホームレス状態で 1 ヵ月以上いた人が大半です。

では、なぜ非正規雇用の建築、警備、飲食の派遣や新聞配達員などの請負の人たちが仕事を減らされ、失うとホームレス状態に陥るのでしょうか。理由は共通しています。派遣の人はネットカフェとホームレスの繰り返しからホームレスになるケースが多く、警備、建築業の人は企業の借り上げ寮を、仕事がなくなるとすぐに追い出されるからです。

こういう状態に置かれた人たちに提供できる公的支援は生活保護制度しかありませんが、実態はどうでしょう。私たちは急増したホームレス状態にある人たちに対し近隣の自治体いる人には当該自治体の反貧困団体や議員、元議員らに支援を要請しました。

立川市内にいる人には、まず反貧困ネットワークの緊急支援費から 1 週間から 2 週間程度の生活費と宿泊費を渡します。次に住居の確保ですが、生活保護申請を行います。立川市が誘導する貧困ビジネスの無料低額宿泊所で生活をしたい人、たとえ 6 ヶ月でも我慢できそうな人はまずいません。さんきゅうハウスの予算ではシェルターも 1 部屋確保、維持できるのが精一杯で、法人で借り上げアパートを提供するにも限度があります。緊急に個人のアパートに同居してもらい「居候状態」での生活費を支給させるなどのやり方でしのいだこともありました。こうした住居確保を民間にやらせるのではなく「公助」による住居確保が必要です。

生活困窮者が落ち着いた日常生活を維持していくには、住居の確保とともに、精神の安定、金銭「管理」、医療支援、部屋の片付け、孤立防止などの対人支援、見守りが不可欠です。そのためには行政による公的支援が必要ですが不十分にしか機能していません。困った人、生活が困難な人、不安を抱えてる人に必要なのは個人の状態に合わせて寄り添う日常的な対人支援です。ここに、さんきゅうハウスの役割があるのですが人材、金銭面など課題、限界があるのも事実です。さんきゅうハウスは 2022 年から 11 年目に入りました。

困った人、生きづらさを抱えた人がだれでも訪ねてこられる居場所の提供と出番づくり、対話により必要な支援をできるよう、活動をこれからも続けていきたいと思います。これからもできる限りのご支援をお願いします。これまでのご支援に感謝を込めて。

吉田和雄（さんきゅうハウス理事）

大沢

八王子相談ネットワークの活動から

陣内やすア（八王子相談ネットワーク事務局メンバー）

実行委員会主催で「八王子コロナ困りごと相談会」を、2021 年 2 月 26 日、27 日の 2 日間開催しました。相談件数は延べ 98 件。市から生活自立支援担当が 2 日間相談ブースに入ったこともあって、相談会終了後フォロー体制についてのすり合わせや要望事項をまとめて、担当所管との話し合いも持ちました。実行委員会解散後は、八王子相談ネットワークとして活動を継続させていくことを確認して、現在に至っています。

この相談会のとき、住まいがなく、仕事もない相談者の生活保護相談があり、生活保護申請→都の協議済みホテル待機→アパート契約→生活開始という対応ができました。2020 年 7 月。同じように住まいがなく、仕事もなかなか見つからない 30 歳代若者の生活保護申請に行った折、八王子の対応は、「住まいがない場合は、まず無料低額宿泊所で自立できるか様子を見させてもらう」というものでした。厚生省の通知や東京都に連絡するなどして、「無料低額宿泊所を強制するのはおかしい」とかなり交渉したのですが、頑として変わらず。何とか、緊急一時宿泊施設（無低の中の一室）に落ち着き、アパートが見つかるまで 3 週間余り滞在しました。この緊急一時宿泊所がひどい環境であったことから、議会質問もあり、これを契機に、議員間に無料低額宿泊所への関心が高まりましたが、無料低額宿泊所の評価はまちまちで、個室だし、特に問題ないのでは、という声もあるところです。また三多摩議員ネットで生活保護行政に関する自治体調査が行われたり、八王子の議会質問で、「本人の希望に沿って可能な限り居宅保護を原則にする」という部長答弁も出るようになりました。

こういった取り組みがあって、相談会以降、自力で生活できる方の生活保護申請では、同行しながら、「生活保護申請です」と当初から申請窓口に赴き、ホテルでの待機、家具什器の特例、アパート入居という対応ができました。多くの支援活動の方々の働きかけによって、少しずつ行政の対応も変わってきたことを感じた次第です。扶養照会においても、本人が「やらないでほしい」と明言することで、無理強いする対応も見られなくなってきたところです。

ただ、課題はまだまだあります。特に、うつなどの精神疾患を抱えている場合など、不動産屋でのアパート探しが困難になるケースもあります。また、同行者がいない場合、窓口対応で、「まず、無料低額宿泊所に入って、様子を見ます」をいわれるケースもあるようで、窓口対応が一貫していないことも課題です。

相談会から半年が経過し、化粧品の提供があったことから、「配布とセットで、女性相談をやろう」ということになり、11 月 7 日、12 日の 2 日間実施をしました。子ども連れでも大丈夫なように、部屋の隅におもちゃコーナーを作り、お茶とお菓子のカフェコーナーをセットしました。フードパントリーとして、提供品を自由にお持ち帰りいただき、スタッフも一緒にお茶を飲みながら、「それだったら、2 階に相談の専門の人がいるから、相談しませんか」と促しました。このゆったりとした雰囲気が功を奏したのか、相談はおひとり 1 時間以上にもわたることもあり、皆さん、帰るときは肩の荷が下りたようなリラックスした様子だったのが印象的でした。

このような女性相談会は、今後も継続的にやっていこうとなり、次回開催は、2 月 13 日（日）、18 日（金）です。チラシができましたら、ご案内いたしますので、ぜひ、おでかけください。

八王子女性相談会（11 月）

「奪われた声を取り戻して」
～KM さんのライフ・ストーリー～

KM さん（54 才）は 2020 年 5 月からさんきゅうハウス借り上げアパートに住む生活保護利用者。現在ではカフェスタッフとしてホールを切り盛りするようになりました。生きる意味を取り戻すまでの半生を紹介します。

① 生い立ち

「父親は、酒飲みでほとんど働いていませんでした。昼夜問わずホテルの炊事場で働く母は仕事で忙しく、叔母が自分を育ててくれました。中学 3 年生の時に父親が肝硬変で亡くなり、母は仕事で知り合った男性のもとに身を寄せ家には帰らなくなりました。私の生まれ育った茨城の鹿島は臨海工業団地で大昔から『たたら製鉄』の歴史があります。タケミカズチノミコトは鹿島神社総本山、鹿島神宮の祭神です。勝負事の神で鹿島アントラーズの選手たちが試合前に祈願に訪れます。」

② 築炉工の仕事

「高校を出てからは鹿島のプリンター会社に就職しましたが 3 年で辞めコンビニエンスストアで働きました。10 年働きましたが、一週間前の解雇で店の倒産を知りました。その後は鹿島住友金属製鉄所の孫請け会社の寮に入り築炉工をしました。築炉工とは、鉄を溶かす炉の中で耐熱レンガの取り替えをする仕事です。この炉の中は熱く 5 分も中にいられません。安全靴や革手袋をしていましたが、熱せられたレンガは重くて大きくて落とせば大怪我です。仕事は休みなく昼夜二交代で 12 時間勤務、日当 7 千円でした。大変きつい仕事でしたが 10 年間勤めました。しかし自分を育ててくれた叔母が 70 才で突然亡くなり、失意に暮れ 50 年住んだ鹿島を離れることにしました。」

③ （アルコール依存症でもないのに）アルコール依存症施設へ!?

「上京して一週間、家も仕事も決まらず途方にくれていた時に『何かお困りの事はありませんか？』と声をかけられリバティ中野（仮名）に行きました。施設で持ち物検査をされ、スタッフに印鑑・携帯・カード・現金を預け、生活保護申請に連れて行かれました。スタッフに『あなたはアルコール依存症だから病院に行きましょう』と言われ、診療所に連れて行かれました。しかし薬は施設で破棄されていました。部屋は 3 LDK で 6 人の共同生活、行動制限で外出が全くできず、個人行動は禁止でした。服は支給されましたが、使えるお金はおこずかい月 4 千円のみで、食事は 3 食交代制で自分たちで作りました。朝 8 時～夕 5 時まで依存症回復プログラムを受けました。自分は酒飲みでもないのにです…」

④ 2 年間の日雇い生活

「ある日の朝に思い立ち、着の身着のまま 1 万円を持ち施設から逃げました。新宿の手配師の紹介で建築現場で働くことになり、ワンルームの寮に入りました。給料の殆どは家賃や仕事道具代、細かい経費（テレビ・エアコン 2 時間 100 円、洗濯 100 円、電気代 1 日 500 円、食費 1 日千円）で引かれてしまい手元に残るのは 12 万円でした。そのうちに体調を壊し仕事をやめました。2 年間で貯めたお金が 60 万ありネットカフェで寝泊まりするようになりました。」

⑤ さんきゅうハウススタッフとの出会い

「立川に来たのは働いていた建設現場が立川のグリーンスプリング（大型商業施設）だったからです。毎日通った場所なので馴染みがありました。昨年 4 月頃だったでしょうか…、立川駅近くの公園で見回りをしていたさんきゅうの方と出会いました。実はこの頃のことは記憶が定かではありません。様子のおかしい自分を見て病院を手配してくれました。リンパ腫と診断され緊急手術で入院となりました。退院後は法人紹介のアパートに入居し、週に 1 度さんきゅうハウス近隣の清掃ボランティアを始めました。ボランティアで皆さんと関わるようになって自信も出てきました。先月からは法人の運営するカフェでも働き始めました。さんきゅうハウスのような場所がもっとあればいいと思います。」

（聞き取り：田中彩）

「コロナ災害を乗り越える いのちとくらしを守る何でも相談会」に参加して

大岡華子（埼玉県立大学教員）

2020 年 1 月に国内で新型コロナウイルス感染者が初めて確認されてから、もうすぐで丸 2 年が経とうとしている。新型コロナウイルス感染拡大により、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が出され、学校の臨時休校、外出自粛、イベントやサロンの中止、家族関係の悪化、仕事の減少・失業等により、私たちの生活が振り回されてきた。このようなコロナの影響で生活に困窮した人々に対して、「コロナ災害を乗り越える　いのちとくらしを守る何でも相談会」実行委員会が主催となり、2020 年 4 月より 2 か月に 1 回フリーダイヤルの電話相談を実施している。現在まで 11 回実施され、結果の詳細は、生活保護問題対策全国会議の HP に記載されているが、これまで私が相談員として参加して感じたことを述べたい。

この相談会で感じることは、衣食住だけではなく、「金銭給付」「通信手段」の重要性である。金銭給付に関して言えば、いわゆる 10 万円の給付金（特別定額給付金）が果たした役割は大きかった。コロナで困窮した人々に対して、生活福祉資金など貸付制度も用意されているが、借金となるため返済の不安が常に付きまとうため、貸付や返済に関する不安や戸惑いを相談者から聞くことが多かった。それに対して特別定額給付金はほとんどの人が申請すれば受け取れるため、制度への抵抗がほとんどなく、いつどのようにもらえるかなどの具体的な相談が多かった。福祉制度の活用等に対して、今なお偏見や抵抗がある中で、だれでも受け取れる金銭給付が重要な役割を果たしたと言えるだろう。

通信手段に関しては、電話という手段の有効性である。多くの相談者がこの相談会を知ったきっかけは、NHK のニュースである。電話といっても固定電話だけでなく携帯電話からの電話が多い。特に、相談者の中には、インターネット等で利用可能な制度を調べることが難しい相談者も多く、電話が外部とつながる重要な手段であるため、生活に困窮していても携帯代は払うという声も聞かれた。携帯電話は、個人で所有しているためプライバシーも確保しやすく、スマートフォンであれば検索も可能で、生活には欠かせないツールとなっていることを実感した。通信費の補助等があれば、生活困窮者も多いに助かるのではないだろうか。

相談員として、毎回生活困窮者の抱えている課題や制度の課題について勉強させられる相談会である。

6 年間の夕食当番

山木美恵子

さんきゅうハウスとの最初のご縁は、2011 年の雑誌『のんびる』の取材でライターとしておじゃましたときでした。まだ柴崎町のアパートが拠点だった頃です。お風呂でさっぱりして手づくりのご飯を食べてという時間が穏やかに流れていて、とても安らいだのを覚えています。その後、このアパートで A さんの介護支援が始まったとき、数回ですが夕食作りにおじゃましました。A さんの表情がだんだん生き生きしてくるのを拝見して、とても満たされた気持ちになったものです。

こんなご縁を経て、月に 1 度だけ土曜日の夕食当番に入るようになってから 6 年がたちました。ねばねば系食材が苦手だった T さんは、お肉の脂身も NG でした。自分の家族にご飯をつくる時と同じようにしたいと思っていたので、好き嫌いを言ってもらえるのがうれしかったです。さんきゅうカフェのシェフも何度か経験させてもらいました。お客さんとのおしゃべり、フロア担当の方と呼吸を合わせての仕事、何杯ものコーヒーのハンドドリップ…楽しくて忘れがたい思い出です。そして、書くのがちょっと照れ臭いけど、スタッフ・メンバーの皆さんに大切にしてもらっていると感じてきました。ありがとうございます！

さて、別れは寂しいのですが、今年 1 月末に夫の郷里・金沢に引越し、「図書室のある焼き芋屋」の開業に向けて準備を始めます。さんきゅうハウスのような暖かい場所を作れたらと思っています。オープンは今年 10 月ごろの予定です。金沢にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

2021 さんきゅうハウス

「水曜カフェのこと」　星 将隆

毎週、水曜日の昼はオニギリや定食を 300 円から 500 円とお手頃な価格でランチを提供しています。

コミュニケーションに障害のある人達の居場所作りとして始めていったのですが、さんきゅうハウスの入居者やほっとスペース八王子(※精神障害当事者運営の作業所)の人達、近所の人達にも知られて利用する人も少しずつ増えました。 水曜カフェは居場所作りを目的としているということもあり「ドリンクとお茶菓子くらいでいいんじゃない？」というスタッフの意見もあったのですが、8 月に始めた

今年度から理事になった神馬幸悦です。

カフェの営業日は、本部企画で月・木、自主企画で火・水、コロナ報道にも負けないで正々堂々と営業しています。自分は主に、木曜カフェのフロアとシェフを担当しています。常時１２名以上の常連様に恵まれて、営業を続けています。

メインメニューは、シェフにお任せです。私の担当日は、秋田フェアにしています。理由は、秋田出身ですから（笑い）外国料理も出ます。エジプト、インド等々。ご飯は、長岡勝也先生が世に出した酵素玄米（発酵米)、柔らかくて赤ちゃんでも大丈夫。

火曜日カフェのシェフ、伊賀野リカです。ボランテイアを始めてから、そろそろ３か月、

Q1：さんきゅうハウスとの出会いは？
ひだのりこ（青梅市議）さんのお手伝いで、係わり始めましたが、最初は土曜日の無料弁当配布のボランティア、理事長の人柄も聞いて好感持っていました。
コーヒーが大好きで、毎朝飲んでいます。夫と息子も応援してくれています。

Q2：やってみての感想は？
仕入れは月曜日で、最初は家族に試食してもらい、味付けなどに工夫をしています。メニューは、手ごねのハンバーグとか肉じゃが等ですが、味付けには最大限、気を使っています。
コーヒー豆は、ガテマラ、エチオピア、コロンビアとかですが、ブレンドも自分で工夫します。1杯ずつ気を入れてドリップ、おいしいコーヒーが飲めてくつろげる場にしたい。
常連さんの行動から学ぶことが多いです。時にはびっくりすることしたり、喋り方もユニークな方が食べてくださいますが、全てがありがたいです。

Q3：何カフェにしたいのですか？
コーヒーにこだわりたいです。なにしろお客様に喜んでいただける味を追求したい。
おまかせ定食の方は、1 日 10 食程度で完売です。
さんきゅうハウスの入居者の方、近所のひとが交流できる場にも育てたい。
（イッセーが半日ヒアリングして代筆しました。）

法政大学堅田香緒里先生の社会調査実習授業。生活保護を利用する人への熱心な聞き取りが 2 ヶ月間続きました。
（2021 年 11 月）

さんきゅうハウスのガレージ在庫を活用したりアパートの片付け、清掃活動を事業化できないかと、府中市のワーカーズコレクティブ「よって屋」を訪問。さんきゅうハウスのスタッフ、条件では難しいのであきらめました。
（2021 年 9 月）

路上生活の人々に救いの手を～「東京スプリングホームレスパトロール」の活動～

スレイマン・ブルキッチ（さんきゅうカフェ月曜担当）

柳美里の『JR 上野公園口』に登場するホームレス男性のセリフ。

「成りたくてホームレスに成った者なんていない」

私たちは東京スプリングホームレスパトロール（TSHP）です。2016 年、5 人のメンバーによって結成されました。現在ではメンバーは 64 人にまでなっています。

私たちはホームレスに生活必需品、主に食べ物を配ってまわっています。日曜日の夜には西新宿の都庁周辺で 75 から 100 人前後のホームレスに、水曜日に上野で 50 人ほど、そして不定期に多摩川沿いの 10 人ほどのホームレスに物資を渡しています。そして昨年の 11 月 6 日には東京を飛び出し、横浜スプリングホームレスパトロールを開始しました。この試みこそ 2022 年の最大の挑戦となるでしょう。

私たちは NPO でも NGO でもありません。活動はすべてカンパ、ボランティアのお料理スキル、名も知らぬ心優しい人たち、そしてお互いへの信頼によって成り立っています。

「経済学者と道徳家に問う。一人の金持ちを作るために、いったい何人の人々を苦悩、過重労働、失望、荒廃、無恥蒙昧、抗し難い不運、貧困のどん底に追い込まれなければならないか、計算したことはあるのか？」（アルメイダ・ガレット）

もしあなたも手を差し伸べてくださるのなら、以下に情報を載せておきます。

Facebook ページでは日々の活動報告、アマゾンのウィッシュリスト、TSHP カンパ口座情報、必要な物資などを公開しています。

https://www.facebook.com/TSHpatrol/

あるいは、直接物資を持参してパトロールに参加してくださっても構いません。

スポークスパーソン、スレイマンのメールアドレス

directactionddd@gmail.com

よろしくお願いします！連帯！

TSHP メンバー一同

追悼 伊藤富四郎さん（享年？歳）

さんきゅうハウスに入居していた伊藤富四郎さんが11月14日自室でお亡くなりになりました。享年69？歳。死因は不明です。「身内を探している」との理由で1か月も立川警察署に安置されてから荼毘に付されお見送りしました。

伊藤さんは…年

？月からさんきゅうハウスに入居しました。それまでは立川駅南口で3か月ほど野宿生活をしていました。立川駅に来るまでは神奈川県相模原市内の寮付き作業場でコンクリートをミキサー車に流し込む仕事を17年間やったと聞きました。重労働のため腰を痛めて働けなくなり解雇されたとか。17年も重労働をし、退職金も労災もなく路上に放り出されたのでした。わたしはこういう企業が平然としていることに強く怒りを覚えました。

お酒が好きで、さんきゅうハウスに来てからはわたしと顔を合わせるといつもニコニコしていた伊藤さん。さんきゅうハウスに来てよかったですか。

さんきゅうハウスの酒飲み仲間から、伊藤さんは「ご飯を食べられなくなりご飯に酒をかけて食べていた」と聞きびっくりしました。

伊藤さんはさんきゅうハウスの自室で亡くなりました。そのショックもあってか、隣室の酒飲み仲間の住人も後日失踪してしまいました。

伊藤さんは亡くなりましたが、Mさんは生き抜いてくださいね。**（吉田）**

2月に一度実施されてきた「いのちとくらしを守る全国電話相談会」。多摩地域会場の一つとしてさんきゅうハウスでは2回線で近隣市議、弁護士、専門家らが相談対応にあたってきました。（2021年11月）

毎週土曜日2カ所で行ってきた炊き出し弁当は利用者が増え、55食では足らず買い足して渡すことも。（2011年11月さんきゅうハウス前）

カンパのおれいとおねがい

コロナ災害は、非正規、低賃金で働いていた人や生きづらさを抱えた人を貧困に追い込んだままです。生活保護制度の運用は無料低額宿泊所への誘導をはじめ改善されておらず１人では申請しづらい状態が続いています。

私たちのところに相談支援を求めてくる人はメンタル、貧困、孤立などの生きづらさをいくつも抱えた人たちです。そういう人に寄り添う支援はどこまで可能か悩みはつきません。炊き出し弁当のニーズも増えていますが、費用、作り手不足があります。さまざまな課題を抱えていますが活動を止めることはできません。これまでのご支援に感謝申し上げながら、引き続きカンパにご協力ください。

☆カンパのお願い☆

さんきゅうハウスは生活に困った人、生きづらさを抱えた人に食事、入浴、衣類の提供、就労手伝い、相談、見守り、看取り、フードバンク、カフェなどを実施中です。運営維持のカンパにどうかご協力下さい。

【カンパ振込先】

☆郵便振替
口座番号：００１００－４－４８７９０５
口座名：さんきゅうハウス

【提供してほしい物品】

テレカ、お米、食糧、電子レンジ、炊飯器、テレビ、新品下着、靴下、新品タオル、Ｔシャツ、スウェットパンツ、Ｇパン、スニーカー

2022 年　さんきゅうハウスおぞうに会

1 年に一度みんなで顔を合わせてお雑煮を食べよう。
お楽しみビンゴゲーム他

日時:2022 年 1 月 1 日午前 11 時～午後 2 時
場所:緑町公園
（JR 立川駅北口下車　徒歩 10 分
モノレール沿い IKEA 手前）